

ひしのみだより

平成30年9月3日発行

発行責任者 千住由一朗

今年記録的な猛暑日が続き厳しい夏となりました。また、気温が高く、紫外線や熱中症の予防のために、外で十分遊べない日が続きました。しかし、子どもたちは、花火大会や盆踊り、海やプールに出かけるなど、夏ならではの体験を通して、一回り大きく成長したことと思います。

いよいよ楽しい2学期がスタートします。9月はまだまだ暑い日が続きますので、早寝・早起きを心がけ、しっかり朝食をとって、生活リズムを見直していきましょう。また、けがや病気をすることなく、元気いっぱい体を動かして過ごせるようにしたいものです。保護者の皆様にも御協力をよろしくお願いいたします。



管理棟とホールの屋根の工事が終わりました！

屋根の上は、「灼熱地獄でした！」と作業員の方が言われていました。工事期間中は天気が良く、台風もそれてくれましたので、予定よりも早い8月27日に全ての工事が終わりました。



屋根はこげ茶色になりました。そして、廊下のテントはクリーム色になりました。遠くから眺めると、引き締まった感じの園舎となりました。工事期間中、保護者の皆様には駐車場等でご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

「自立心」とは！（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）

「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。」姿です。他者の指示通りに行動するのではなく、自ら考え、主体性を持って行動する姿です。

（例）

- ・生活の流れを予測したり、周りの状況を感じたりして、自分でしなければならないことを自覚して行うようになる。
- ・自分のことは自分で考えて行い、自分でできないことは実現できるように工夫したり、先生や友達の助けを借りたりしてくじけずに自分でやり抜くようになる。
- ・いろいろな活動や遊びにおいて、難しいことでも自分の力で諦めずに最後までやり遂げ、満足感や達成感を味わい自らの生活を確認するようになる。
- ・自分のよさや特徴に気づき自信を持って行動するようになる。



自立心は短期間で養えるものではありません。小さな成功体験を積み重ねたり、失敗を乗り越えた経験が自信になったりして、少しずつ育っていくものです。

